

富士箱根伊豆国立公園
(富士山地域)

公園計画変更書

[一部変更]

令和元年9月27日
環境省

目次

第1 公園計画の変更	1
1 変更理由	1
2 事業計画の変更内容	2
(1) 施設計画	2
ア 利用施設計画	2
(ア) 単独施設	2

第1 公園計画の変更

1 変更理由

富士箱根伊豆国立公園は、我が国最高峰である富士山を頂点とし、伊豆半島から伊豆諸島、硫黄海嶺に続く火山列に起因する火山弧峰、火山カルデラ、半島、列島景観により構成され、フィリピン海プレートがユーラシアプレート及びオホーツクプレートに沈み込むプレートテクトニクスのダイナミズムを感じることができる国立公園である。

本公園は、富士山を中心に東に石割山や三国峠、西に天子山系、南に愛鷹山、北に御坂山系と富士五湖と称される湖沼群、また、富士山北斜面の溶岩流上に広がる青木ヶ原樹海など、湖沼及び山林の一体的景観を有する富士山地域を始め、箱根外輪山に囲まれた箱根地域では、箱根カルデラ内の芦ノ湖及び仙石原を中心とする火口原部など、変化に富む繊細な景観を有することから、昭和 11 年に富士箱根国立公園として指定された。その後、昭和 30 年に伊豆半島地域の編入によって、名称を富士箱根伊豆国立公園と変え、昭和 39 年に伊豆諸島地域が編入され現在に至っている。

今回変更する富士山地域は、平成 8 年に再検討を実施した後、平成 18 年に第 1 次点検、平成 30 年に第 2 次点検を実施している。

近年の特筆すべき社会情勢の動向として、平成 25 年 6 月に富士山が世界文化遺産に登録されたことが挙げられる。

世界文化遺産富士山及びその構成資産については、保存管理体制を確立するための担保措置として国内法により指定・管理される国立公園が大部分を担っているが、世界遺産登録の際の委員会では、過剰な登山利用等の状況に対応するため、来訪者管理の推進に係る勧告をされており、それを踏まえ、平成 30 年 3 月に「「望ましい富士登山の在り方」の実現に向けた来訪者管理計画」を策定し、過剰な登山者数による著しい混雑の緩和を図り、訪れるすべての登山者が富士登山を堪能できるよう、安全性・快適性のさらなる向上を目指すことが明記された。さらに、平成 30 年 11 月にユネスコに提出された保全状況報告書においても、登山者への情報提供に係る取組として、須走口五合目における安全登山の情報提供等の充実に向けた具体策の検討を進めることが明記され、当該地において適切な利用の推進に係る事業の実施が必要な状況となっている。

これらを踏まえ、「国立公園の公園計画等の見直し要領」2(3)の「一部変更」のうち、「イ 環境省が自然公園の保護又は適正な利用の観点から、政策的に規制又は施設の整備を早急に進めるために公園計画等を変更する必要が生じた場合」に合致するものとし、下記の事項について変更する。

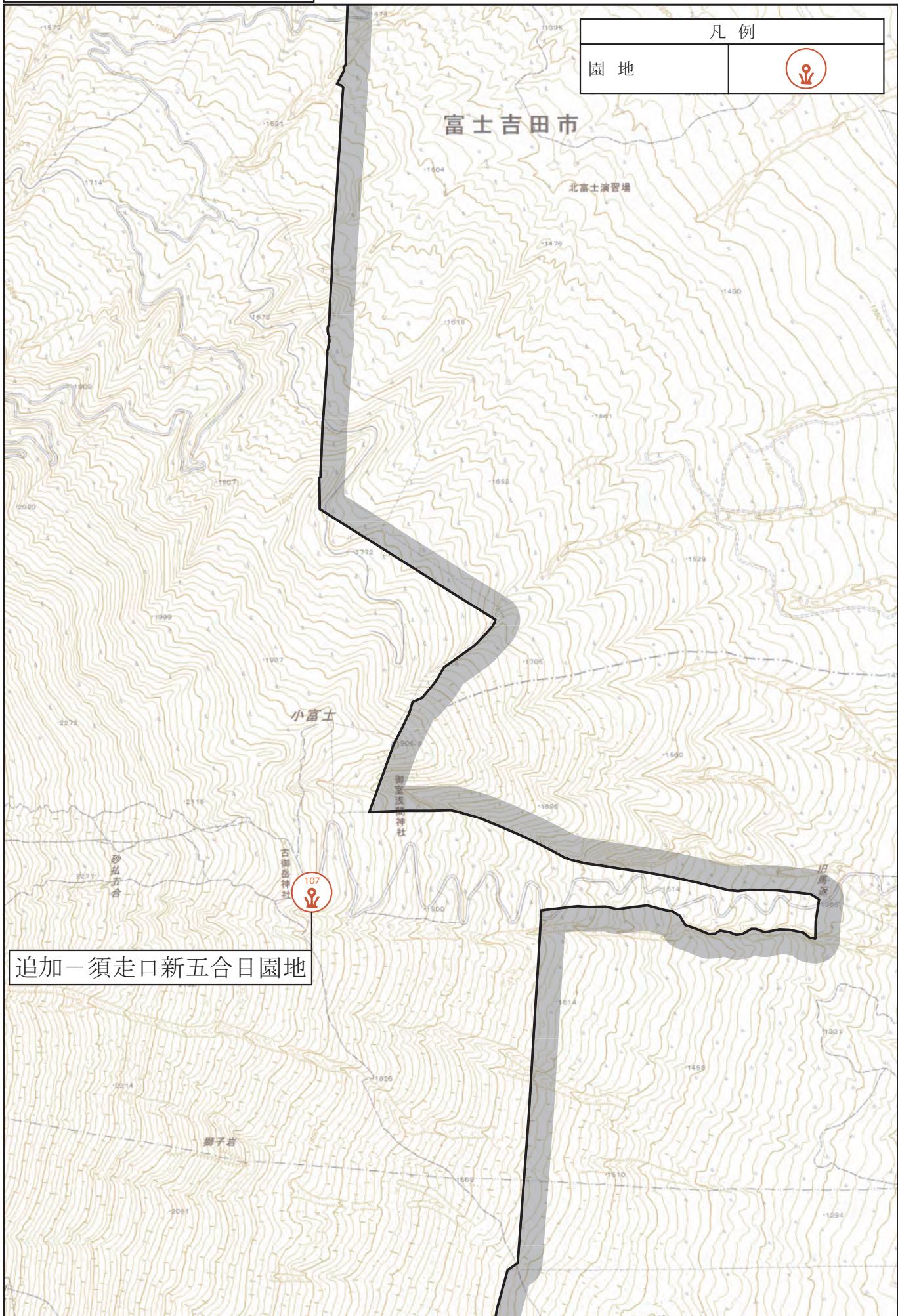
2 事業計画の変更内容

- (1) 施設設計画
ア 利用施設設計画
利用施設設計画の一部を次のとおり変更する。
(ア) 単独施設設
次の単独施設を追加する。

(表1：単独施設表)

番号	種類	位置	整備方針
107	園地	静岡県駿東郡小山町（須走口新五合目）	須走口登山線道路（車道）終点における、富士登山と周辺の探勝の拠点として、情報提供・休憩のための園地を整備する。

利用施設計画変更図



1:25,000

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の 20 万分 1 地勢図、5 万分 1 地形図、2 万 5 千分 1 地形図、電子地形図 25000 及び電子地形図 20 万を複製したものである。(承認番号 令元情複、第 261 号)」

リサイクル適性Ⓐ

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。